

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 令和6年度（2024年度）河川工作物アドバイザー会議の開催と予定について

(1) 第1回会議（令和6年（2024年）7月29日（月）～7月30日（火））

- ・7月29日（月）現地検討会及び室内会議（斜里町ウトロほか）

イワウベツ川7号ダムの改良及び3号ダムの改良予定について、現地検討を行いました。

室内会議において、世界自然遺産委員会（ユネスコ）への保全状況報告、気候変動に対する順応的管理戦略の検討、ルシャ川・イワウベツ川・オッカバケ川のダム改良、朔北橋(オッカバケ川)橋梁補修、羅臼川における対応状況、知床岬地区における携帯電話基地局整備（情報提供）等について報告と議論を行いました。

- ・7月30日（火）現地検討会（斜里町ルシャ地区）

ルシャ川において、河床路の状況、治山ダムの改良について現地検討を行いました。

(2) 第2回会議（令和7年（2025年））

1月下旬～2月上旬に札幌市で開催予定

2 令和6年度（2024年度）長期モニタリング取組状況について

知床世界自然遺産地域科学委員会第2期長期モニタリング実施計画に基づき、以下の調査について実施しています。

(1) オショロコマの生息状況に関するモニタリング調査

知床半島内の遺産隣接地域を含む42河川を対象に水温調査を実施し、うち8河川でオショロコマの捕獲調査及び16河川で外来種を含めた魚類相・生物量の推定を目的とした環境DNA解析による生物量調査を実施しました。

(2) サケ類の降下数等調査（隔年実施）

ルシャ川、テッパンベツ川において、サケ類の降下数について調査を実施しました。

3 今後の予定

北海道森林管理局では、今後も継続して、河床路実証試験モニタリング及びオッカバケ川並びにイワウベツ川のダム改良を実施します。本工事に当たっては、河川工作物アドバイザー会議の技術的な助言を得ながら、また、地元関係者から意見を伺いながら進めます。

また、第2期長期実施モニタリング実施計画に基づき、オショロコマの生息状況に関するモニタリング調査、サケ類の遡上数等調査を実施します。